

エクセルでできるフォルダー一括作成手順 チェックリスト

事前確認

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	一括作成するフォルダの目的（年度別／拠点別／社員別／顧客別など）を整理した
<input data-bbox="160 431 202 471" type="checkbox"/>	フォルダを作成する親フォルダの場所（パス）を決め、そのフォルダをエクスプローラーで開いた
<input data-bbox="160 559 202 599" type="checkbox"/>	フォルダ名に使用できない文字（¥、/、：、*など）を事前に共有・確認した - 補足：Windowsで使用不可な文字が含まれないようにする
<input data-bbox="160 702 202 742" type="checkbox"/>	一括処理の前に、テスト用にフォルダ数件作成し、手順を試すかどうか決めた

Excelブックの準備

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	Excelを起動し、「空白のブック」を選択するか Ctrl+N で新しいブックを作成した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	既存ブックを開いている場合は、「ファイル」→「新規」から新しいブックを作成した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	念のため、作業前に「名前を付けて保存」を行い、独立させたフォルダ名リスト用のブックで作業していることを確認した

フォルダ名リストの作成

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	新しいブックのB列に、作成したいフォルダ名を1行ずつ入力した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	A列は後でコマンド（md）を入れるため、何も入力していない状態にした
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	各フォルダ名に使用不可の文字（¥、/、：、＊など）が含まれていないことを確認した
<input data-bbox="160 690 202 730" type="checkbox"/>	フォルダ名の重複がないか、または意図した重複かを確認した

「md」 コマンドの入力

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	B列の入力が完了していることを確認した
<input data-bbox="160 440 202 480" type="checkbox"/>	A列の対象行すべてに半角英字で「md」を入力した - 補足：必要に応じて「mkdir」に変更してもよいことを理解している
<input data-bbox="160 585 202 625" type="checkbox"/>	「md」が全て半角で入力されていることを確認した（全角になっていないか確認した）
<input data-bbox="160 714 202 754" type="checkbox"/>	A列とB列の対応がずれていないことを確認した

CSV形式でファイルを保存

チェック	確認事項
☐	フォルダを作成したい場所（親フォルダ）を把握し、その場所に保存する方針を確認した
☐	「名前を付けて保存」ダイアログを開き、保存先フォルダをフォルダ作成先に指定した
☐	「ファイルの種類」で「CSV UTF-8（カンマ区切り）（.csv）」などCSV形式を選択した
☐	ファイル名を分かりやすい名前（例：folder_list.csv）に設定した
☐	CSV保存後、Excelから表示される注意メッセージの内容を確認し、問題ないことを確認した

CSVからBATファイルへ拡張子を変更する

チェック	確認事項
☐	エクスプローラーで保存したCSVファイルのあるフォルダを開いた
☐	ファイル名に拡張子（.csv）が表示されているか確認した
☐	拡張子が表示されていない場合、 エクスプローラーで「表示」→「ファイル名拡張子を表示する」を選択して表示した
☐	CSVファイルを右クリックし、「名前の変更」から拡張子を「.csv」から「.bat」に変更した
☐	拡張子変更時に表示される「ファイルが使用できなくなる可能性がある」という警告に対し、 「.bat」はテキストデータとして扱うことを確認したうえで「はい」を選択した
☐	拡張子が「.bat」に変わり、アイコンがバッチファイルとして認識されていることを確認した

BATファイルの実行

チェック	確認事項
☐	BATファイルを置いているフォルダが、フォルダを作成したい親フォルダであることを再確認した - 補足：意図しない場所に大量のフォルダを作成しないための最終確認
☐	BATファイルをダブルクリックして実行した
☐	実行後、親フォルダ内にB列で指定したフォルダがすべて作成されていることを確認した
☐	作成されたフォルダの数とExcelリストの行数が一致しているか確認した
☐	不要なBATファイルや作業用ファイルの扱い（削除・保管）を決めて実行した

下層フォルダの一括作成（必要な場合）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	下層フォルダも同時に作成する必要があるか事前に確認した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	B列のフォルダ名に、「親フォルダ名¥下層フォルダ名」の形式で入力した - 例：「A社¥請求書¥領収書」
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	必要なすべての階層を「¥」区切りで正しく入力した
<input data-bbox="160 690 202 730" type="checkbox"/>	BATファイル実行後、エクスプローラーの検索窓や「ツリー表示」で、フォルダまで想定どおりに作成されていることを確認した

半角スペースを含むフォルダ名の作成（必要な場合）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	フォルダ名に半角スペースを含める必要があるフォルダを洗い出した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	半角スペースを含むフォルダ名をダブルクォーテーション（" "）で囲んで入力した - 例：「"A社 営業部"」
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	半角スペースを含むフォルダ名が分割されて複数フォルダになっていないか確認した
<input data-bbox="160 690 202 730" type="checkbox"/>	半角スペースを含むフォルダと含まないフォルダが混在する場合、入力ルールが統一されているか確認した

コマンドプロンプトからの一括作成（代替方法／必要な場合）

チェック	確認事項
☐	代替方法としてコマンドプロンプトから実行するかどうか決めた
☐	A列の「md」の後ろに半角スペースを1文字入れていることを確認した
☐	B列に作成したいフォルダ名を入力し、C列に「=A1&B1」の数式を入れて下方向にコピーした
☐	C列の結果（「md フォルダ名」の形式）をすべて選択してコピーした
☐	親フォルダをエクスプローラーで開き、アドレスバーに「cmd」と入力してEnterキーを押し、そのフォルダをカレントディレクトリとするコマンドプロンプトを起動した
☐	コマンドプロンプトにC列からコピーしたコマンドを貼り付けて実行した

コマンドプロンプトからの一括作成（代替方法／必要な場合）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	実行後、親フォルダにフォルダが正しく一括作成されていることを確認した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	コマンドプロンプトを「exit」と打つ、または「×」ボタンで閉じたことを確認した

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
☐	BATファイルはダブルクリックした瞬間に複数のフォルダが一気に作成されるため、実行前に「保存場所」と「リスト内容」を必ず再確認する
☐	フォルダ名に使用できない文字や半角スペースの扱いを誤ると、意図しない名前のフォルダが大量に作成されるおそれがある
☐	拡張子の表示・非表示設定を確認し、誤ったファイルの拡張子を変更しないよう注意する
☐	初めて実行する場合や不安がある場合は、5件程度の「テスト用BAT」で試してから本番の一括作成を行う
☐	コマンドやBATファイルの扱いに慣れていない利用者には、事前にサンプル画面を見せるか、経験者と一緒に実施する

※2025年12月時点の情報をもとに作成しています